

ほんべつ 議会だより

No. 100

2022年(令和4年)
2月1日発行

記念号



撮影時のみマスクを外しています

未来へ翔け 本高生

12月20日 本別高校2学年 模擬議会

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会

検索 

おかげさまで100号を迎えました



平成9年6月1日に創刊された「議会だより」は今回で100号を迎えることができました。町民から信頼される開かれた議会を目指し、毎年定例会ごとに議会だよりを発行してきました。今年で25年を迎える議会だよりの歴史を振り返り、これまでの歩みをご紹介します。

創刊号



平成9年(1997年)6月

- 28ページの議会だよりでスタート
- 当時の議員定数は20人
- 一般質問は3日間で14人が質問

7号



平成10年(1998年)12月

- 表紙は「本別カメラクラブ」が撮影した写真を使用

68号



平成26年(2014年)2月

- 中央小6年生による子ども議会を開催
- 広報広聴特別委員会を常任委員会へ移行

78号



平成28年(2016年)8月

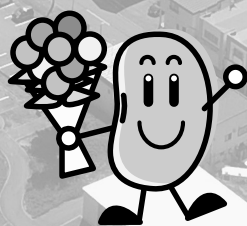
- 町民の皆様に信頼される議会を目指して「議会基本条例、政治倫理要綱」を制定し、6月から施行

100号



令和4年(2022年)2月

- 記念号を発行
- 今後も読まれる広報を目指します



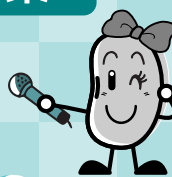
高齢者と若い世代が深く
関われるまちづくりを。



山本 大暉さん（本別中2年）

100号記念特集

町民の声 「町や議会へ望むこと」



議会だより100号を記念して、町民インタビューを企画しました。町民21人の方に「町や議会へ望むこと」をテーマにお話をお伺いしました。

みんなで仲良く学校に登校して、自分から大きな声であいさつする。



塚林 みなみさん（仙美里小5年）

本別が大好き。高齢者が気軽に集える場所がほしい。



澁谷 富子さん（北3丁目）

動物園や水族館がほしい。



北田 梨紗さん（中央小2年）

人材確保のため、医療・介護に良い職場環境を。



木村 龍登さん（向陽町）

いきいき商品券は、お客さんが楽しく買い物に来てくれるので、ぜひ続けてほしい。



北 敦司さん（北3丁目）

入院設備があり、24時間対応の町立病院を残してもらいたい。



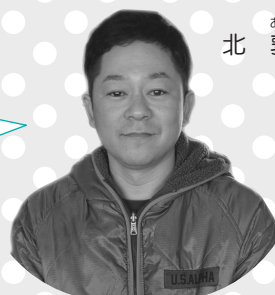
楠 久行さん（新町）

子どもがかりやすい病院や水遊びができる場所を。



池田 麻衣さん（北4丁目）

老人ホームの建て替えはどこに？早い建設を。



高長根 雄太さん（拓農）



熊本 美花さん（錦町）

若者がリターンや本別にいたくなるようなまちづくりを。



平田 胡桃さん（本別中2年）

帯広に行かなくても遊べるように、映画館や遊園地がほしい。



篠原 恵子さん（勇足元町）

地域の人がふれあう活動を大切に、子どもが元気に育つまちづくりを。

人口が少なくなり、自分たちの世代でまちおこしをしたい。



廣田 佳治さん（仙美里元町）

町民誰もが理解できる議会運営を。

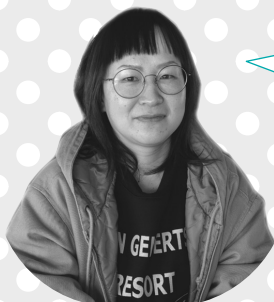


森住 里美さん（勇足西2）

空き家を活用した子育て世代に住まいの支援を。



上田 隆裕さん（勇足中2年）



大和田 絵美さん（美里別西上）

やっぱり充実した子育て支援！高校の魅力をもっと発信して。



山根 圭之輔さん（中央小6年）

人工芝のサッカー場がほしい。コンサドーレの選手にサッカーを教えてほしい。

農業について積極的に学び、北海道農業を支えていきます。



佐藤 成泰さん（農大）



佐藤 希帆さん（仙美里元町）

子供たちが幸せに暮らせるようなまちづくりを。

早い情報発信、役場と農協、町内連携した取り組みに期待！



佐藤 俊行さん（美里別高東）

子供たちが酪農家になりたいという夢を持ってもらえるような支援を。



南部 恭平さん（勇足西5）



第4回 定例会

3回目の新型コロナウイルス ワクチン接種の関連補正予算等を可決

令和3年第4回定例会は12月7日に開会し、各会計補正予算などを審議しました。
審議された内容は次のとおりです。

一般会計補正

12月7日審議

新型コロナウイルス接種事業

追加接種となる3回目のワクチン接種を今年の2月15日から開始します。

問

1、2回目の接種はファイザー社製のワクチンを使用していたが、3回目を使用するワクチンの種類は。

答

国からのワクチン供給状況により、ファイザー社製と一部モデルナ社製を使用する予定です。

問

接種の案内方法などは。

新規就農者等支援事業

新規就農を目的に、町内で短期間の農業体験を行う人や、農業経営を開始することを目的に農業技術を習得しようとする人、また、その受け入れ農家などを支援しています。

問

今回の新規就農者の業種は。

答

農業経営を開始する法人で畜産業になります。

遅延利息

北海道知事からの審決によって、議員の除名処分が取り消されたことにより、議員報酬等の未払分に対する遅延利息の支払いが生じました。

問

民法に基づき賠償するとのことだが、これは税金をもって行つたのか。

答

そのようになります。

一般会計補正予算に対して、**反対者の討論** 梅村議員

議会が行った不法行為に伴う責任を、議会及び議員自らが責任を取るのではなく、税金で支出することは、納税している住民の理解は到底得られない。

賛成者の討論 大住議員・藤田議員・柏崎議員

今回の補正予算はコロナワクチン接種や災害復旧など多岐にわたる大事な予算であり、遅延利息について

も何ら違法性はなく適正に予算措置されている。

採決の結果

賛成者10人
反対者1人



12月15日審議

子育て世帯への臨時特別給付金

0歳から18歳までの子どもがいる世帯に、子ども1人あたり10万円を現金で一括給付します。



ニコニコ笑顔で雪あそび（認定こども園）

問 0歳はいつまでに生まれた子どもが対象となるのか。また、所得制限の考えは。

答 令和4年3月31日までに生まれた子どもが給付対象となります。所得制限は国のルールにのっとり制限を設けます。

第5回臨時会
開催日11月30日

一般会計補正

福祉灯油

灯油価格の高騰により、冬期間の経済的負担の軽減を図るため、対象世帯1世帯あたり1万5千円分のポイントカード商品券を支給します。申請は2月末まで行っています。

問 対象世帯は。

答 生活保護世帯68、非課税世帯432の合

計500世帯を予定しています。

年末年始飲食店利用促進事業

年末年始における飲食店の活性化、消費喚起を図るため、32の飲食店で使用できる団体向けのチケットと、スナックやカラオケ店など8店舗で使用できるチケットを販売します。



コロナ禍で影響を大きく受けているスナック

問 飲食店の現状は。

答 団体やグループの予約が少なく、令和3年8月から9月の売り上げは飲食店で約25%、スナックは約50%減少しています。

問 事業の詳細は。

答 飲食店分として5,000円のチケットを3枚1セット1万円で、スナック等で使用できるチケットは1,000円分を

6枚1セット3,000円で、それぞれ1,000枚ずつ販売します。

令和3年度各会計補正予算

会 計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一 般 会 計	(3億5,251万8千円) 73億8,662万2千円	福祉灯油等事業の実施、新型コロナウイルス感染症緊急対策支援事業などによる増 (臨時会) 子育て世帯への給付金事業、ワクチン3回目接種事業、大雨による災害復旧などによる増 (定例会)
特 別 会 計	国民健康保険 (20万2千円) 11億1,531万1千円	燃料費の高騰、新型コロナワクチン接種関連予算の増 (定例会)
	後期高齢者医療 (△142万5千円) 1億4,662万円	北海道後期高齢者医療広域連合負担金の確定による減 (定例会)
	介護保険事業 (△3万4千円) 10億7,338万5千円	事業費の確定による減 (定例会)
	介護サービス事業 (101万5千円) 3億7,234万4千円	人事異動等に伴う人件費の調整、燃料単価の高騰による増 (定例会)
	簡 易 水 道 (△286万9千円) 1億817万9千円	事業費の確定による減 (定例会)
	公 共 下 水 道 (△333万2千円) 5億4,959万3千円	事業費の確定による減 (定例会)
水 道 事 業 会 計	(234万円) 2億3,248万6千円	執行見込みによる増 (定例会)
病 院 事 業 会 計	(△2,384万3千円) 13億1,589万円	人事異動等に伴う人件費の調整及び上期実績による材料費の減 (定例会)

※第5回臨時会(11月30日開催)含む

一般質問

7人の議員から11問

※令和3年7月15日までに接種を受けた人を対象に、2月15日から接種が可能となりました。

暮らし

**コロナワクチン3回目の接種は
答 必要があれば前倒して実施します**



石山憲司議員

石山議員 新型コロナウイルスの感染状況は日本において落ち着いていますが、世界では「オミクロン株」での感染が拡大しています。

①実施したコロナウイルスワクチン接種事業（2回接種）での接種率84・09%は、十勝管内で最も低い方でした。この事業の検証結果を伺います。
②3回目の追加接種について、政府は前倒しが可能であると発表しているが、本町での対応は。

佐々木町長 ①ワクチン接種は希望する方すべてに接種を行ったと考えています。



改善が求められたコールセンター

また、「予約時の電話がつながりにくかった」「土日での接種」の要望は、3回目接種時に改善していきます。

②3回目の接種に向けて、令和4年2月18日から、令和3年6月18日までに2回接種を終えた方を対象に準備をしています。ワクチンや医療従事者を確保しながら、町民の皆様が不安を与えることなく、必要があれば前倒して実施します。（※）

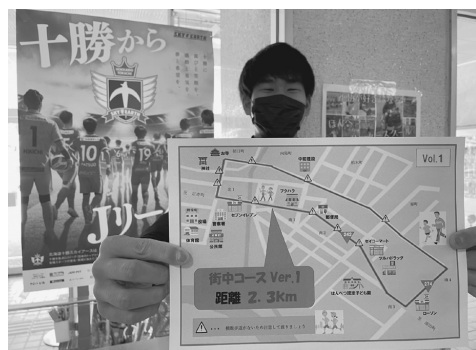
**コロナ禍の健康被害と人のつながりで健康維持を
答 自宅訪問を実施し、運動と食事で健康維持を進めます。**



水谷令子議員

水谷議員 コロナ禍で人との交流が減ることで身体活動が減り、孤立から健康被害が起これています。地域社会とのつながりをつくる必要があると考えますが見解を伺います。

①高齢者フレイル予防のために、保健師や栄養士が自宅訪問している経過を伺います。
②健康増進のため教育委員会とのコラボ事業の取り組みをどのように推進していくのですか。
③健康維持のために筋肉量を維持するには、朝タンパク質を摂取する運動の取り組みが必要と考えますが。



ウォーキングマップ第1弾

佐々木町長 ①令和2年度は対象者164人に対して120件、3年度が122人に対して現在66件の訪問を実施し、孤立状態の人はいません。
②健康増進の課題として肥満と運動不足が挙げられ、運動指導やウォーキングマップを作成していますが、今後も関係課と協力して進めます。
③一律に実施することは難しく、「健康ほんべつ21」の中でも食事に重点を置いており、健康増進活動を進めます。

新改革プランに沿った町国保病院の経営は可能か

答 直営の継続で経営改善を進めます



梅村智秀議員

梅村議員 町国保病院は令和3年3月に新改革プラン第二期を策定したばかりですが、医師の離職が相次ぐ原因や背景を分析し、待遇を含めその改善を図り、医師確保、診療体制の維持、健全経営を行うことが急務です。

①平成30年度では医師の給与が一番上で約4,180万円、下で約2,930万円です。本町は決して低くはなく、全国的に医師を募る一つの売りになると考えます。削減するところと、評価して見直すところの区別が必要では。

②直営堅持との方針だが、管内で運営主体を変えて収支改善や医療サービスが充実された好事例がある中、経営、運営ともに極めて課題が多い病院を直営のまま、改善や改革がなせると断言できますか。

佐々木町長 ①本町の医師給与は他の自治体よりも少し上の方をいくところとです。

医師の待遇改善は本人の意向に沿った形で今進めています。

②職員の意識改革はまだ遅れている認識はあります。直営のままで今のところはある程度改善が進むと思っておりますが、数年後の状況によっては運営形態の検討を考えます。



地域医療を守る医師の確保は急務

安心して最期を迎えることができるまちづくりを

答 安心生活創造事業などで暮らしをサポートしています



阿保静夫議員

阿保議員 令和2年、高齢者単独世帯は870世帯です。

町長も公約で示していますが、身寄りがない、または親族が近くにいないという高齢者の方が、この町で一生住

み続けることができる体制づくりをさらに進めていかなければならないと考えます。

また、成年後見人制度の活用も重要になってくるのではとも考えます。今後の取り組み方について見解を伺います。

佐々木町長 身寄りのいない方への対応は全国的な課題です。本町では平成20年度に安心生活創造事業を開始、また社会福祉協議会が設置した安心サポートセンターの運営を支援しながら暮らしをサポートしています。今後も身寄りがない方などが本町で暮らし続け、安心して最期を迎えることができるまちづくりを進めていきます。

また、本別町成年後見制度利用促進基本計画に基づきながら、権利擁護体制の充実に努めていきたいと考えます。



安心して住み続けられる町に

いつまでこのまま？農大周辺の道路補修を

答 傷みが進んでいる状況で、検討し補修していきます



補修痕が目立つ町道

梅村議員 農大周辺道路及び農大への経路となる幹線町道の損耗が著しい。農大生や職員、ご家族が居住しており、農大への来訪者も多い。また、土砂運搬等を行う大型車の交通量も多い現況で、交通量に合わせた適切な維持管理が急務です。

①9号線近辺の補修痕は大中小あわせ150力所以上もあり、14号線は道路両端の路盤が沈下し、大風等でトラック

など重心が高い車両の横転の可能性があります。道路の維持管理者として責任が問われることも否定できず、安全性が担保されるのでしょうか。

②幹線道路以外の生活道路は未舗装が多く、同じ箇所が傷むが要請をしなければ再修繕してもらえない実情で、不測に基づいてパトロールの強化など対応が必要では。

佐々木町長 ①私も十分認識しており、全面的な改修をしたいが、多額の費用がかかるので計画性を持って補修をしていきたいです。その優先順位が農大周辺であることは事実です。

②連絡簿や処理簿から傷んだ箇所を割り出すことは可能ですので対応していきます。



観光

道の駅のトイレ改善を

答 必要な措置を講じながら改善を図ります



山西二三夫議員

設であります。道の駅の本管はパイプに各施設から水が流れています。洗浄回数を増やすなどトイレ詰まりの解消に向けた対応が必要と考えますが見解を伺います。

山西議員 道の駅のトイレは24時間利用できなければなりません。近年トイレが詰まり利用できないことがあり、道の駅のスタッフが対応に追われている現状があることから改善が求められています。

佐々木町長 トイレ詰まりの改善について施設管理委託者により日々清潔な環境保持に努め、また排水管の詰まり予防のため年2回全管の配管清掃を専門業者に依頼して実施しています。

24時間利用できる道の駅トイレ



今後定期的な配管清掃などをし、状況に応じて必要な措置を講じながら改善を図り、さらなる環境整備に努めてまいります。

毎年30万人以上の方が訪れる観光振興の重点的な施設で、道の駅の多目的ホールは指定避難施設とされており、重要な役割を担う施

有料でも利用したいと思えるキャンプ場に

答 民間の運営も視野に入れながら検討します



柏崎秀行議員

柏崎議員 本別公園は町内随一の観光資源であり、毎年14万人もの人が訪れています。さらなる環境整備をし、サービスの質を高め、観光地としてレベルアップしていくことが必要と考え伺います。

①義経の里御所は冬季閉館されています。整備をして冬期間も営業し、接客サービスという視点に立ち掃除を強要しない等、取り組むべきと考えますが。

②現在は無料で利用できるキャンプ場ですが、有料でも利用したいと思えるキャンプ場に運営を見直す必要があると考え見解を伺います。

佐々木町長 ①今後のキャンプ場の整備・運用を見据え、

施設の一部分ではありますが、2棟程度の冬期間営業も試験的に実施します。清掃のお願いについては、ごみの分別や使用物品の整とんなど最低限のご協力に改めたいと考えます。

②令和4年度から整備計画に着手し、無料エリアと有料エリアを複合的に提供できるようエリアを区別化して、民間運営も視野に入れながら検討を進める予定であります。



整備が求められる本別公園キャンプ場

魅力あふれる本別公園の有効活用と環境整備を

答 自然体験学習に絶好の環境だと理解し活用しています

水谷議員 本別公園は、歴史と文化、自然が融合した地であり、特徴ある魅力を発信することは、本別町の活性化、まちづくりに不可欠だと考え見解を伺います。

①健康増進のために本別公園版ウォーキング&ランニングマップの作成が必要では。

②体験学習の場として、町外から知的好奇心と芸術性向上を満たす場の宝庫として、存在感を高めています。学芸員を置くことで、発信力を高め町の活性化に努める考えは。

③静山研修センターは、安全面と景観面から問題があり、解体が必要では。

佐々木町長 ①スポーツ推進委員会議の中で随時協議し、検討します。

②社会教育課では、「ほんべつ学」を7回開催し、自然体験学習の絶好の環境で

あると理解し活用しています。学芸員につきましては、十分な協議が必要であり、教育委員会でも議論を進めることにします。

③公園キャンプ場の整備計画に着手する予定であることから研修センターの解体も含めて検討を進めていきます。



本別のグランドキャニオン（第2キャンプ場上空より）



子育て・福祉

3歳児健診で弱視の早期発見を

答 適切な時期に簡易スキャナーを導入します



藤田直美議員

藤田議員 国は3歳児健診において強い屈折異常や斜視が見逃された場合には治療が遅れ、十分な視力が得られないことを指摘しています。日本小児眼科学会では健診時の視力検査に加え、簡易スキャナー等を用いた検査機器の導入を推奨しています。

①現在、家庭での検査と問診を行っています。検査ができない子どもへの対応は、②操作が簡単で眼科医でなくとも扱つことのできる簡易スキャナーが開発され導入する自治体が増えています。本町も導入するべきと思います。



導入する簡易スキャナー

佐々木町長 ①絵カード等での3歳児健診、さらに3歳6か月で心配な方等の再検査の実施と障がいがある方には健診医と相談し、眼科受診を勧め、早期発見、早期治療につなげています。

②十勝管内の各自治体において導入の検討がされています。本町においても適切な時期に予算化し、簡易スキャナーを導入してまいります。



福祉・暮らし

福祉灯油制度拡充、燃料高騰に町独自対策を

答 拡充の考えはないが、関係機関より情報収集に努めます

梅村議員 燃料価格が高止まりし、家計や事業所、農家等には大きな負担となっており、燃料価格の先行きが見通せず対策を必要とします。

①一定の収入額以下の世帯を対象に福祉灯油制度が実施されますが、高齢者世帯はコロナ禍で在宅時間が長くなり、伴って燃料費の負担が増え家計を圧迫しています。コロナ対策の臨時交付金等を財源とし、対象を一定の高齢者世帯まで拡充することが必要では。

②町内事業者を守るためには、飲食店はもとより、飲食店以外の商店街事業者、建設、運送事業者に対しても目を向け、支援をばねに事業継続、発展をしていただくべきでは。

1万5千円にさせていただいたので、対象者の拡充の考えは持っていません。

②事業者の影響度合いなどについては、関係機関、団体とも連携を取り、情報収集に努め対応してまいります。燃料価格がさらに上がることになれば町としても、全体的な対策を判断する必要があると思っています。

佐々木町長 ①福祉灯油事業はこれまで1万円分の支給を



燃料高騰で事業者への影響は

行政

地域担当職員制度を導入する考えは

答 現在、担当職員配置の考えはありません

阿保議員 町長は、役場職員

が町民と助け合う関係性を築き、自らが考えて行動する人材の育成について言及していますが、今後のまちづくりに重要で必要だと考えます。

このことを制度として具体化したものの一つが「地域担当職員制度」だと考えます。

管内では芽室町が取り入れています。研究調査し導入を図る考えはないか伺います。

佐々木町長 町民の方との関係性を築く取り組みとして、

自治会長等研修会で職員も出席し、ご意見、ご質問などいただき、意見交換をしています。また、若手職員は商工会やJAの各青年部主体の事業にも取り組んでおり、職場をこえた交流や情報交換がなされ、まちづくりも展開されているものと考えます。一定程度、地域の課題や行政への要望など聞く機会は設けられており、現在、各自治会に担当職員を配置する必要はないものと考えます。

職場をこえたまちづくり（豆まかナイト準備中）

意見書

第4回定例会では意見書が3件提出され、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、衆参議院議長、内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。

【要旨掲載】
(17ページにも掲載)

地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書

北海道内における海水温の上昇及び赤潮発生によるウニやサケなどの不漁は、関連業者への影響も含め地域経済に大きなダメージを与え、地域の衰退を招きかねない。

よつて国はカーボニーニュートラルの実現、海水温上昇の被害実態調査、被害対策の策定と支援などの措置を早急に講ずるよう求めます。

提出者

阿保 静夫



インボイス制度の導入中止または延期を求める意見書

2023年10月からの実施に向け、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の登録申請が始まった。

本制度は500万件を超える消費税免税事業者が取引から排除され、利益の減少や廃業に追い込まれる恐れがあり、政府および国会に対し、インボイス制度の導入中止、延期を強く求めます。

提出者 阿保 静夫

討論

反対者…梅村議員

税負担の公平性を担保するためにはやむを得ない。延期と事務負担の軽減に向けた制度の見直しを。

賛成者…柏崎議員

小さい企業を守るといった視点で考え、制度の導入中止や延期を求める。

採決の結果

賛成9人
反対1人



意見書

本別高校2学年「総合的な探求の時間」 模擬議会を開催



本別高等学校（松田素寛校長）2学年による模擬議会が12月20日、本会議場で行われました。

本模擬議会では、生徒が説明員席（通常の議会では特別職、課長職が座る席）に着き、とかち創生学で取り組んだ生徒が考える町の課題に対する解決策を議員に提案しました。

提案をした3プロジェクトの内容要旨と質疑応答の一部を掲載します。

本別町商店街の活気UPプロジェクト

高校生をターゲットに、商店街のメニューブックを作成することで、高校生の利用が増え商店街の活気UPにつながります。

問

銀河通り商店街に行かない理由として、アンケートによると73%が行く理由がないと答えていますが、それはなぜだと考えますか。

答

行かないというよりは行きたいという思いがない、魅力があまり知られていないのではないかと思います。

生涯幸せプロジェクト

障がいについての漫画を作成することで、小さいころから理解が深められ、差別がなくなりみんなが暮らしやすくなります。

問

障がいについて理解を深めた小学生や皆さんが将来、どのように本別町で生活をしたり、関わっていくと考えますか。

答

小学生が大人になり、子どもに障がいについて教えてそれが何代にも引き継がれたり、私たちも将来、介護等で本別に暮ら



アニメの聖地 本別町プロジェクト

したりすることもあると思うので、障がいのある方に対して適切な対応が取れるのではと思います。

問

本別町をアニメの聖地にする場合、どのような課題が考えられますか。

答

コラボレーションをする企業から著作権の許可を得たり、一番の課題は資金面だと思います。

町内のイベント等でアニメとコラボレーションすることで、観光客が増え、本別町をアニメの聖地化へつながります。



町財政が厳しい状況にあり大幅な経費削減に努めている中、一般会計からの繰入金が増加傾向で、繰入金の抑制が求められています。

平成30年度の純損失は約1億2,400万円と高水準で推移している状況とな

経営状態について

令和元年12月定例会において設置し調査を続けてきた本特別委員会ですが、これまで12回の審議や町民との意見交換会を実施し、令和3年12月定例会で調査結果報告書を提出しましたので、報告書の概要についてお知らせします。

調査報告

国保病院

の運営に関する調査特別委員会



報告書は議会のホームページで閲覧できます。



り、外来患者数を見ると、過去5年間では平成28年度の約4万7,000人から毎年約3,000人減少し、収益の減少幅が大きくなっています。

病院収益を上げる取り組みとして、地域連携室による連携業務を効果的に推進し町内外の医療機関からの入院患者の積極的な受け入れや、令和元年6月から夜間診療の開設（現在休診中）、令和3年1月からの地域包括ケア病床の導入による効果的な病床稼働で外来患者の確保や診療単価のアップによる収益の増を目指しています。

病院職員アンケートの結果から

「あなたは今の仕事にやりがいを感じていますか」の問いでは、やりがいを感じている人が多くいました。あまり思わないと答えた人は17%、全く思わないが7%と低く、自分が評価されていると感じていない人や、精神的に不安を感じて仕事をしている人がいることもわかりました。

アンケートの結果から、患者様に対するサービス向上や働きやすい環境づくりと、全職員による経営参画意識の向上などが必要と考えます。

期待される役割機能
今後の方向性

必要に応じた包括ケア病床の増

- 地域包括ケア病床の導入による回復期病床機能の充実は、今後町民ニーズが高まることが予想されます。必要に応じて包括ケア病床数の増床をしていくべきです。

地域に密着した医療提供

- 病床を保有する中核病院として「保健」「医療」「福祉」の切れ目のない連携と、将来にわたり地域に密着した医療を提供していくことが求められています。

経営形態の見直しの検討も必要に

- 現在、地方交付税約2億5千万円を含めて、毎年約4億円を一般会計から繰り入れています。人口減による収益の減、繰入金増となった場合は、今後の財政事情から経営形態の見直しの検討が必要になると考えます。

地域診療所との連携

- 地域の医療環境や交通事情を勘案し、救急医療や災害医療の中心的役割を担う必要があり、地域診療所との連携が求められます。

このほか、医療スタッフの確保育成への取組強化や経営検討結果の見える化などを求め、本特別委員会の最終報告とします。

賛否の分かれた表決

令和3年中に開催された本会議では、町提出議案77件、議員発議2件、意見書11件など計112件の採決が行われました。今回掲載するのは、本会議中に賛否が分かれた議案（特別委員会と無記名投票による採決は除く）となります。

議員名及び議決結果		水谷	柏崎	梅村	石山	篠原	大住	山西	黒山	方川	阿保	藤田	高橋	議決結果
議決日及び議案名		令子	秀行	智秀	憲司	義彦	啓一	三夫	久男	一郎	静夫	直美	利勝	
定例会 3/10	本別町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○		可決
定例会 3/22	令和3年度本別町一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
定例会 3/22	令和3年度本別町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		可決
定例会 3/22	令和3年度本別町国民健康保険病院事業会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
定例会 3/22	高レベル放射性廃棄物の最終処分場につしないことを求める意見書【提出者：黒山議員】	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
定例会 6/17	議員報酬の減額支給に関する条例の制定【提出者：梅村議員】	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×		否決
定例会 10/14	教育委員会教育長任命について同意を求める件	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	同意
定例会 10/14	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書【提出者：阿保議員】	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
定例会 12/7	令和2年度本別町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	認定
定例会 12/7	令和2年度本別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	認定
定例会 12/7	令和2年度本別町国民健康保険病院事業会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	認定
定例会 12/7	令和3年度本別町一般会計補正予算（第14回）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
定例会 12/15	インボイス制度の導入中止または延期を求める意見書【提出者：阿保議員】	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○		可決
定例会 12/15	選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書【提出者：藤田議員】	×	○	×	○	○	欠	×	○	○	○	○		可決

賛否の欄 ○：賛成、×：反対・棄権・態度保留、欠：欠席 ※議長は採決には加わりません

**次の定例会は
3月2日開会
9日一般質問・ナイター
議会を予定しています**

議会報告会・ 町民懇談会のお知らせ

●新型コロナウイルス感染拡大により2年連続で開催できなかった議会報告会及び町民懇談会ですが、本年は5月の開催を予定しています。

詳しい日程等が決まりましたら改めてお知らせします。

令和3年

議会傍聴者数

会議名及び開催日	人数	会議名及び開催数	人数
第1回定例会（3/2～3/22）	6	議会運営委員会（18回）	2
第2回定例会（6/8～6/17）	8	総務常任委員会（7回）	0
第3回定例会（10/5～10/14）	56	産業厚生常任委員会（5回）	0
第4回定例会（12/7～12/15）	27	広報広聴常任委員会（17回）	2
小計	97	小計	4
第1回臨時会（1/26）	2	予算審査特別委員会（3回）	0
第2回臨時会（4/27）	5	決算審査特別委員会（2回）	5
第3回臨時会（7/28）	2	国保病院の運営に関する調査特別委員会（5回）	14
第4回臨時会（9/17）	2	議員協議会（15回）	0
第5回臨時会（11/30）	2	小計	19
小計	13	合計	133

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため傍聴自粛等をした会議（報道機関のみ計上）は、11月12日までの議運、総務・産業厚生・広報広聴各常任委員会

意見書

選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書

家族のあり方が多様化する今、若い世代が将来に展望を持ち、希望を実現できる社会にしていけるために適切な選択肢を用意することは国および国会の責務であると考えます。

国連のSDGsが提唱する「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて制度導入が求められています。国会での積極的な議論を求めます。

提出者 藤田 直美

討論

反対者..

梅村議員、水谷議員

子どもを含む家族などの視点が失われ、個人主義を助長する。他国に誇れる極めて優れた制度であり、守ることも必要。

賛成者..

阿保議員、柏崎議員

世界的に見ても別姓方式は主流であり、メリットやデメリットはあるが選択できる。国会で議論を求めることは賛成。

採決の結果

賛成 7 人
反対 3 人



行政報告

第5回臨時会（11月30日開催）及び第4回定例会（12月7日開会）において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

常勤医師が退職します

平成29年7月から、外科で診療いただいております山下健一郎医師から、一身上の都合により、12月31日付けで退職したい旨の申し出があり受理しました。1月以降の診療体制については、内科2名、外科1名

の3名体制となり、外科については当面、院長1名で運営します。患者様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いいたします。今後の医師確保については、大変厳しい環境にはありますが、引き続きさまざまな手段を活用しながら、全力で確保対策を進めます。

3回目の新型コロナウイルス接種は2月から

11月30日現在のワクチン接種状況ですが、12歳以上の全対象者6,130人に対し、1回目の接種を終えた町民は5,218人、率にして85・12%、2回目の接種を終えた町民は5,155人、率にして84・09%となっています。

希望する方はおおむね接種していただいたと考えていますが、今後新たに接種を希望される方への対応として、町国保病院での接種は継続します。

追加接種となる3回目の新型コロナウイルスワクチン接種については、2回目の接種から8カ月以上経過している

18歳以上の接種希望者を対象に、3つの時期に分けて集団接種を予定しています。接種時期のおおむね1カ月前に対象者への個別通知を予定しています。

令和4年度予算編成方針

本町の財政運営については、「歳入に見合った歳出」の原則のもと、行政諸課題への適切な対応を実現できる持続可能で安定した財政運営に努めたいと考えています。

ます。一般会計の財政規模は、69億円程度を見込んでいます。

予算編成は、「第7期本別町総合計画」を推進するとともに、私が公約に掲げる5つの笑顔構想、43の取り組みを実現するため、各種事業を着実に推進し、笑顔が輝き続ける本別町をつくりあげるよう、町民の皆さまと協働したまちづくりを展開してまいりたいと考えています。

議会日誌

〔12月〕

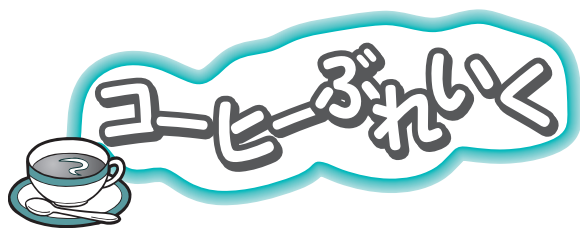
- 3日 議会運営委員会
- 7日 第4回定例会開会、議員協議会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会
- 9日 議会運営委員会
- 14日 第4回定例会（一般質問）
- 15日 第4回定例会（議案審議）、広報広聴常任委員会
- 20日 模擬議会（本別高校2学年）
- 21日 十勝町村議会議長会情報意見交換会
- 28日 広報広聴常任委員会



〔1月〕

- 14日 広報広聴常任委員会
- 18日 議会運営委員会、議員協議会
- 19日 広報広聴常任委員会
- 27日 総務常任委員会所管事務調査
- 28日 第1回臨時会、議会運営委員会





今回は、昨年12月に行われた、本別高校2学年の「総合的な探求の時間」模擬議会で発表を行った生徒8人にお話を伺いました。



模擬議会を終えて

模擬議会では、3プロジェクトが発表をし、終えて初めての感想を聞いてみると、初めて議場に入って緊張した、自分たちの色を残しつつ議員に伝えるために発表のスライド作成に苦労したこと。議場の雰囲気については、テレビで見たことのある感じだった、マイクを使ったり、挙手しないと発言できなくて厳格さが増した感じだったと話されました。

議会だよりを読んだことは

次に、議会だよりを読んだことがあるかについて聞いてみると、数字やグラフがたくさんあって言葉が難

本別高校の魅力は

いい、手に取ったことはあるが内容までは読んだことがないとのことでした。

また、とかち創生学などに取り組まれている本別高校で、生徒が思う高校の魅力について聞いてみると、進路についてのサポートが手厚く、生徒の人数が少ないうえ先生方のコミュニケーションが取りやすい、行事で一人一人が活躍できるなどと話されました。

どんな大人になりたいか

最後に、本別高校で培った仲間やかち創生学などの取り組みを経て、どんな大人になりたいかをお聞き



かいと 大和田 海翔さん



えり 齋藤 愛莉さん



あすか 篠原 明日香さん



かずは 堀辺 一葉さん



あゆむ 佐藤 歩夢さん



ほのか 竹村 帆乃佳さん



いさむ 佐藤 功武さん



みう 丑若 美羽さん

最後に

お話を聞いてみて、今回の模擬議会やかち創生学を通じて、高校生が本別町の活性化を図るため、子どもからお年寄り、障がいを持つ方も本別で生活し続けるまちづくりを考えていることに改めて良い取り組みだと感じました。

今回100号の記念となる「議会だより」の編集でした。町民の皆様に登場していただきたいという委員全員の思いもあり、町民インタビューや「ユーヒーぶれい」など、たくさんの方に協力していただき、無事発行することができました。ご協力いただいた方には改めてお礼申し上げます。

日頃より見て読んでもらえる広報作りを目標に編集作業に励んでいます。が、これからも町民の皆様に読んでいただける「議会だより」を目指して、委員一同と事務局が力を合わせて努めてまいります。

委員長 柏崎 秀行
副委員長 水谷 令子
委員 藤田 直美
石山 憲司
黒山 久男

編集後記